

Title	凡例
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学論集. 37
Issue Date	2007-09-20
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80039
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

凡例

本リストは、書誌データ専用ソフト‘Endnote’を用いて作成した。入手した刊行物のうち、同人誌等における1ページ以内の短文記事は省略した。

各項目は、下記の順に掲載されている。

標目(個人著者名, 団体著者名, 著者名が該当しない場合は編集者名)

題名(書名), 掲載雑誌(書)名, 巻号, 特集名, 出版社(刊行者), 刊行年(西暦), 収録ページ数

刊行物は、時系列で参照できるように、刊行年毎に区切っている。刊行物の中には、刊行年が記載されていないものもあったが、その場合、

- (1) 雑誌内の文章や、文末に年号が記されている場合は、これに基づき、「1960？」のように推定した年号にクエスチョンマークを付した。
- (2) 雑誌など、前後の刊行物の刊行年が推定される場合も、「1960？」のように、推定した年号にクエスチョンマークをつけた。
- (3) 刊行年が不明の場合で、関連する刊行物が同一著者によって連続して刊行されていると思われる場合には、「1960年代」の意味で「1960s？」と記した。
- (4) 年度は確定できないが、2年内に刊行されたと推定されるものは、「1960-1961」とした。

上記(1)～(4)に該当するデータは、各刊行年の最後に記載している。

著者名には、「A.B.生」のようにイニシャルのものや、「野々村」のように苗字のみの場合もある。

また、著者名が不明の場合、刊行者、もしくは編集者を著者名とした。([例]「『中級日本語』漢字読みと書き練習問題」のような場合は「大阪外国語大学日本語日本文化教育センター」を著者名に、「ドイツ語学科卒業論文題目一覧」のような場合は、「大阪外国語大学ドイツ語学科」を著者名とした。同一人物でも、刊行物によって漢字が異なる場合(弥と彌, 浜と濱など)や簡体文字などは、刊行物の表記を優先させたが、パソコンに入っていない文字の場合は、当用漢字を用いた。

ソフトの都合上、著者名は数字、アルファベット、カタカナ(ひらかな)、漢字の順に並んでいる。アルファベットはABC順だが、カタカナ、ひらかなは五十音順、漢字の場合は、最初の漢字の音読みの五十音順に並んでいる。紙幅の都合と、著者名の正しい読み方が不明の場合があったため、索引はない。

[例]アルファベットによる名前の場合→ABC順(キリル文字はアルファベットの最後)

Hayashi, Eiichi

Foreword *NEBULAE* 1, OSAKA GAIDAI LINGUISTIC CIRCLE (1974): 1.

Marquez, Gabriel Garcia

Los funerales de la Mama Grande *STUDIUM* 3, 大阪外国語大学大学院生研究誌委員会 (1974): 41-48.

Oishi, Masaru

An Interpretive Approach to Negation *NEBULAE* 1, OSAKA GAIDAI LINGUISTIC CIRCLE (1974): 39-49.

Rijn, Inge Riis van

„Gennem Nøglehullet” : *IKEBANA IDUN* 2, 大阪外国語大学デンマーク語・スウェーデン語研究室 (1974): 93-95.

Shobo, Tomizo

On the Structure of Generic Expressions *NEBULAE* 1, OSAKA GAIDAI LINGUISTIC CIRCLE (1974): 51-70.

Sugimoto, Takashi

What Do You Think About How We Think -- A Case Study of Some Rhetorical Expressions *NEBULAE* 1, OSAKA GAIDAI LINGUISTIC CIRCLE (1974): 71-92.

Yamamoto, Susumu

A Generative Study of Japanese Tanka and Haiku Poems *NEBULAE* 1, OSAKA GAIDAI LINGUISTIC CIRCLE (1974): 107-150.

[例]カタカナの名前の場合→五十音順

アルバレス・タラドリスJ.L.

A CADA COSA SU NOMBRE Y A DIOS EL QUE CORRESPONDE 大阪外国語大学学報 32, 大阪外国語大学 (1974): 1-20

インドネシア研究会

インドネシアの詩二編 世界のわかものよ(外大祭記念出版) 6, 大阪外国語大学「世界の若者よ」編集刊行委員会 (1974): 36-39.

[例]漢字の名前の場合→名前の最初の漢字の音読みの五十音順

「安」はアン, 「工」は「コウ」, 「溝上」は「コウジョウ」, 「香川」は「コウセン」, 「高田」は「コウデン」となる。

安村仁志

17世紀スラヴの異才（パンスラヴィスト）ユーリー・クリジャニチ ロシア・ソビエト研究 9, 大阪外国語大学ロシア語研究室 (1974): 85-101.

ラスコーリニキ内部の諸セクト *STUDIUM* 3, 大阪外国語大学大学院生研究誌委員会 (1974): 1-12.

工藤貴正

魯迅《狂人日記》の構想分析試論 *STUDIUM* 13, 1984): 17-29.

溝上富夫

(訳)
民話とラビンドラナート・タゴール アシュトシュ・ボッターチャルジュ *世界口承文芸研究* 6, 世界諸民族の伝承文化研究特集号—東洋編, 大阪外国語大学口承文芸研究会 (1984): 141-150.

香川優子

素顔のサマド・ベヘランギー -革命的作家と田舎教師のあいだ- *大阪外国語大学学報* 67, 大阪外国語大学 (1984): 1-18

〔翻訳紹介〕スィーミーン・ダーネシュヴァル「天国のような町」現代アジアにおける地域政治の諸相 1983年度, 大阪外国語大学アジア研究会 (1984): 179-196.

高階美行

デダン語(前古典北アラビア語)研究に向けて *大阪外国語大学学報* 64, 大阪外国語大学 (1984): 283-312

高田珠樹

『「いき」の構造』のヨーロッパ *大阪外国語大学学報* 65, 大阪外国語大学 (1984): 29-57

根岸伸樹

モンゴル語の中の仏教語 *モンゴル研究* 7, モンゴル研究会 (1984): 88-91.

佐々木玲子

ドイツ語のダイクシス現象に関するノートから *SPRACHE UND KULTUR* 18, 大阪外国語大学ドイツ語研究室 (1984): 47-56.

なお、今後本データをネット上での公開も検討している。